学校施設の老朽化の問題と、今後の改築、改修等の計画について

東京都町田市議会 令和2年度第3回定例会

一般質問 諸派 矢口まゆ

町田市の学校施設の状況

・2019年4月1日時点では、築30年以上の学校施設が56校。
そのうち、築40年以上が42校、築50年以上が11校となっている。

・築50年以上の学校については、一般的な耐用年数の60年が差し迫っている。

・文科省では、2015年3月に「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定について（通知）」を、翌月には「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」を公開。

・2020年度中の個別施設毎の長寿命化計画の策定が、国庫補助の条件となっている。

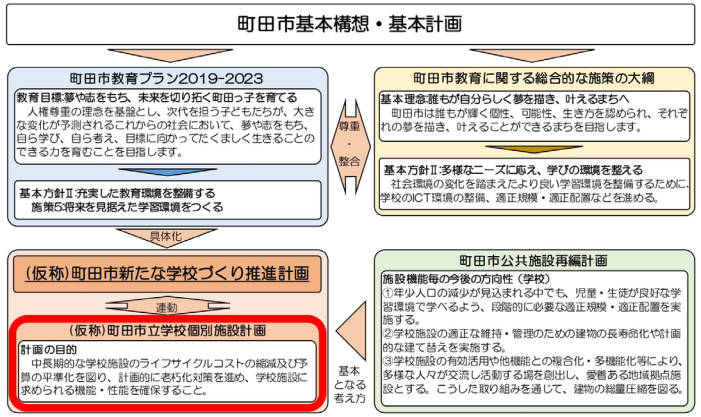
2020年6月17日
行政報告資料
学校教育部施設課

（仮称）町田市立学校個別施設計画の中間報告について

学校施設の現況や利用状況、将来の社会状況の変化を踏まえ、長寿命化や建替えを計画的に行うための（仮称）町田市立学校個別施設計画の策定を進めています。
2019年度に調査・検討を行った、学校施設の現状と課題、改修・改築の優先順位づけ(案)、学校施設整備の考え方(案)について中間報告をいたします。

1　背　景
町田市立の小・中学校は建設時期が1970年代に集中し、2019年4月1日現在、築30年以上の学校施設が56校となっており、そのうち築40年以上が42校、築50年以上が11校となっている。築50年以上の学校施設については一般的な耐用年数（RC造）の60年が差し迫っており、その他の学校施設についても、老朽化が進んでいるため、計画的な学校施設の改修・改築が課題となっている。

2　目　的
（仮称）町田市立学校個別施設計画は、町田市公共施設再編計画に基づき、すべての学校施設の劣化具合や利用状況、社会状況の変化を踏まえ、機能維持を目的とした中規模改修(計画修繕)や機能向上を目的とした長寿命化改修並びに改築を計画的に行うために策定するものである。
また、策定する個別施設計画に基づき、中長期的な学校施設のライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図り、計画的に老朽化対策を進め、学校施設に求められる機能・性能を確保するものである。
(町田市教育プラン2019-2023　重点事業Ⅱ~5~2)　2019-2020年度個別施設計画策定



1

現在公開されている情報について

資料4

3　改修・改築の優先順位づけ（案）

（1）老朽化等の課題のある施設の抽出

1）分類

① **コンクリート圧縮強度が13.5N/㎟以下の棟がある学校**

- 耐震改修を実施しているため、耐震性に関して問題はない。しかし、使用コンクリートが著しく低強度(13.5N/㎟以下)であれば、変質、変状、施工上の信頼性の全てに影響があるため、長寿命化に適さない。

② **1971年の建築基準法施行令改正に伴い、帯筋間隔に関する基準が改正される以前に建てられた棟を有する学校**

- 建築基準法施行令の第77条2項の改正によって帯筋の間隔を狭くし、鉄筋をより多く入れ、柱のせん断破壊を防ぐように義務付けられた。よって改正以前の基準で建てられた建物は以降の建物に比べて耐震性能が低く、改修が求められる。

③ **1972年以降に建てられた棟のみで構成された学校のうち、大規模改修または中規模改修が実施されておらず、躯体以外の劣化状況においてC評価ないしはD評価の部位がある棟を有する学校**

④ **1972年以降に建てられた棟のみで構成された学校のうち、1972年～1981年築の棟がある学校、または1982年以降に建てられた棟のみで構成された学校のうち、大規模改修または中規模改修が実施されている学校**

⑤ **1982年以降に建てられた棟のみで構成された学校のうち、躯体以外の劣化状況においてC評価またはD評価の部位が無く、良好な学校**

2）並び順

各学校を校舎の築年数と健全度を基に、分類ごとに並び替える。

健全度を100点満点から差し引き、2分の1することによって50点満点で劣化を表す指標とし、それに築年数を加えた値を各棟の評価点とする。

次に、各学校には校舎が複数あり規模も異なることから、相加平均では正しい評価ができないため、延床面積の加重平均を学校ごとの評価点とする。

計算式

$$\text{学校ごとの評価点} = \frac{\text{各棟の}\left[\left\{\text{築年数} + \frac{(100-\text{健全度})}{2}\right\} \times \text{延床面積}\right]\text{の総和}}{\text{各棟の延床面積の総和}}$$

※　計算の対象棟は「校舎」と「複合棟」とする。

3）校舎の分類

分類		順位	校名	対象総面積（㎡）	圧縮強度	築年平均	健全度平均	加重評価	学級数	規模	地域	防音対象校	詳細調査
圧縮強度13.5N/㎟以下の学校　1校		1	町田第四小学校	5,650	13.0	48.0	75.4	60.3	18	標準規模	町田中心	○	
1971年以前（帯筋間隔改正前）築の学校 17校		1	南第四小学校	5,506	19.7	49.5	50.7	74.1	17	標準規模	南		
		2	つくし野小学校	4,319	27.3	49.0	53.1	72.5	12	標準規模	南		
		3	鶴川第四小学校	7,596	16.7	47.5	50.7	72.1	18	標準規模	鶴川		
		4	鶴川第三小学校	7,483	15.9	49.7	56.1	71.6	14	標準規模	鶴川		○
		5	南第一小学校	5,861	16.4	46.7	55.5	68.9	19	大規模	南		
		6	町田第六小学校	6,401	16.3	51.7	72.6	65.4	12	標準規模	玉川学園・南大谷	○	
		7	町田第三小学校	5,119	22.5	50.4	70.5	65.2	15	標準規模	本町田・薬師池	○	○
		8	相原小学校	5,965	24.0	44.7	60.4	64.5	13	標準規模	相原		○
		9	町田第三中学校	6,164	15.7	51.1	77.9	62.2	12	標準規模	本町田・薬師池	○	R1
		10	本町田東小学校	6,442	14.9	48.1	72.5	61.9	8	小規模	本町田・薬師池	○	
		11	南第三小学校	5,891	17.9	48.0	75.4	60.3	13	標準規模	南	○	
		12	忠生小学校	6,556	17.9	43.6	68.3	59.4	15	標準規模	忠生		○
		13	薬師中学校	7,249	17.7	47.0	75.4	59.3	9	小規模	鶴川	○	
		14	町田第一小学校	5,266	24.9	42.6	66.9	59.1	19	大規模	町田中心	○	○
		15	町田第五小学校	5,431	20.5	44.6	75.4	56.9	18	標準規模	玉川学園・南大谷	○	
		16	町田第二小学校	4,487	25.8	49.4	89.8	54.5	13	標準規模	町田中心	○	○
		17	南中学校	11,397	15.9	38.0	75.4	50.3	18	標準規模	南	○	
1972年以降築の学校	劣化有（改修未実施）13校	1	南大谷中学校	7,207	16.3	44.1	40.0	74.1	13	標準規模	玉川学園・南大谷		
		2	鶴間小学校	5,204	28.4	42.4	40.0	72.4	17	標準規模	南		
		3	金井小学校	5,388	33.2	42.0	40.0	72.0	17	標準規模	鶴川		
		4	南大谷小学校	6,257	15.6	45.4	57.7	66.5	18	標準規模	玉川学園・南大谷		R1
		5	高ケ坂小学校	4,418	25.8	37.9	45.6	65.1	12	標準規模	成瀬		
		6	成瀬中央小学校	4,765	27.5	40.0	58.3	60.9	12	標準規模	成瀬		
		7	成瀬台中学校	8,231	28.5	39.0	58.3	59.9	12	標準規模	成瀬		
		8	南つくし野小学校	6,624	26.5	39.0	58.3	59.9	23	大規模	南		
		9	南成瀬中学校	7,743	20.9	38.0	58.3	58.9	14	標準規模	成瀬		
		10	三輪小学校	4,907	－	35.8	58.3	56.6	18	標準規模	鶴川		
		11	小山田南小学校	6,818	－	35.7	58.8	56.3	18	標準規模	忠生		R1
		12	小山田小学校	4,975	24.4	36.2	60.2	56.1	12	標準規模	北部の丘陵		R1
		13	小山田中学校	6,196	－	35.1	60.0	55.0	15	標準規模	忠生		R1
		14	金井中学校	5,520	－	34.1	59.7	54.2	14	標準規模	鶴川		
	劣化有（改修済）23校	1	鶴川第二中学校	8,262	19.8	44.3	56.1	66.3	20	大規模	鶴川		○
		2	忠生第三小学校	5,793	21.9	45.0	61.9	64.1	18	標準規模	忠生		○
		3	忠生中学校	7,885	17.2	44.4	60.9	63.9	19	大規模	忠生		○
		4	小川小学校	6,383	18.6	44.4	62.3	63.3	15	標準規模	南		
		5	成瀬台小学校	7,186	18.7	44.5	64.0	62.5	19	大規模	成瀬		○
		6	小山小学校	6,681	22.9	41.0	60.3	60.9	25	大規模	小山・小山ヶ丘		○
		7	南第二小学校	6,263	25.7	41.0	62.3	59.9	12	標準規模	成瀬		
		8	町田第二中学校	6,444	24.9	47.0	76.5	58.8	14	標準規模	玉川学園・南大谷	○	○
		9	鶴川第二小学校	6,457	17.7	41.0	66.1	57.9	18	標準規模	鶴川		
		10	つくし野中学校	7,676	18.7	42.7	72.5	56.4	20	大規模	成瀬		○
		11	藤の台小学校	6,908	18.5	46.6	84.0	54.6	16	標準規模	鶴川	○	○
		12	山崎中学校	6,813	25.1	39.1	75.4	51.4	9	小規模	本町田・薬師池		
		13	南成瀬小学校	6,940	27.5	39.0	75.4	51.3	12	標準規模	成瀬		
		14	真光寺中学校	7,091	35.9	39.0	75.4	51.3	10	小規模	鶴川		
		15	山崎小学校	5,473	23.5	39.0	75.4	51.3	12	標準規模	忠生		
		16	七国山小学校	6,201	28.1	39.2	76.1	51.1	19	大規模	本町田・薬師池		○
		17	木曽中学校	6,353	－	36.0	75.4	48.3	9	小規模	忠生		
		18	本町田小学校	6,090	31.1	42.0	88.0	48.0	12	標準規模	本町田・薬師池		
		19	木曽境川小学校	5,658	25.2	42.0	88.0	48.0	15	標準規模	忠生		
		20	大蔵小学校	6,449	31.7	35.0	75.7	47.2	23	大規模	鶴川		R1
		21	堺中学校	9,386	19.4	31.6	80.6	41.3	16	標準規模	相原		○
		22	武蔵岡中学校	3,740	－	34.5	92.1	38.4	3	小規模	相原		
		23	大戸小学校	5,400	－	35.2	96.3	37.0	6	小規模	相原		
	良好な学校 7校	1	町田第一中学校	15,950	－	校舎改築中			20	大規模	町田中心		
		2	鶴川中学校	13,514	－	18.0	88.0	24.0	16	標準規模	北部の丘陵		
		3	小山ヶ丘小学校	10,150	－	15.0	88.0	21.0	25	大規模	小山・小山ヶ丘		
		4	図師小学校	8,452	－	11.0	88.0	17.0	18	標準規模	忠生		
		5	小山中央小学校	9,718	－	10.0	100.0	10.0	24	大規模	小山・小山ヶ丘		
		6	小山中学校	11,201	－	8.0	100.0	8.0	23	大規模	小山・小山ヶ丘		
		7	鶴川第一小学校	7,493	－	4.0	100.0	4.0	24	大規模	北部の丘陵		

※詳細調査欄の「R1」は2019年度現地調査対象校

改築を含めた整備が望ましい ↔ 長寿命化可能

13

3）体育館（武道場含む）の分類

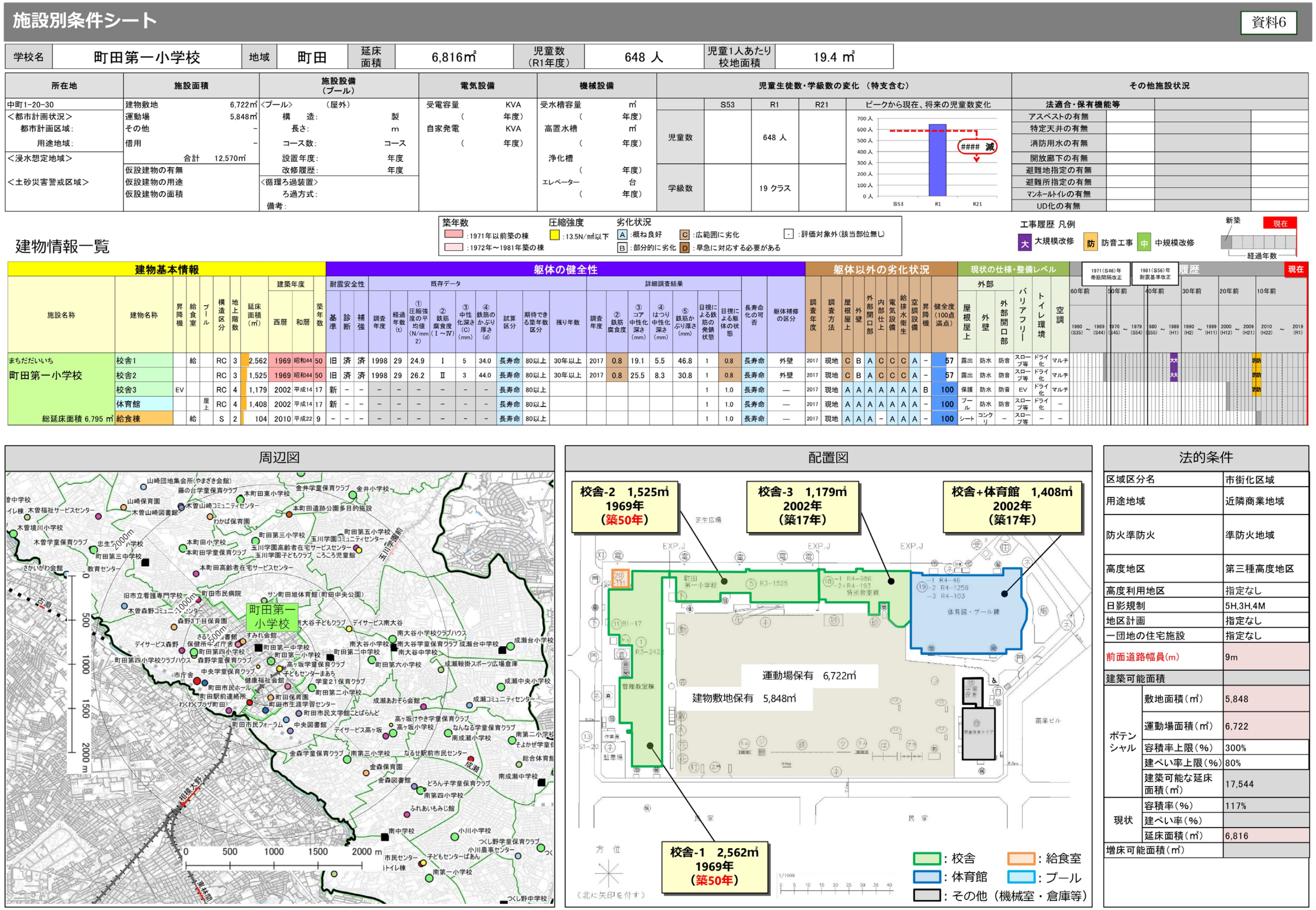
分類		順位	校名	対象総面積（㎡）	最古築年	築年平均	健全度平均	加重評価
1971年以前築の学校 2校		1	南第一小学校	692	1970	49.0	40.0	79.0
		2	忠生小学校	668	1971	48.0	78.1	59.0
1972年以降築の学校	劣化有 34校	1	つくし野小学校	668	1972	47.0	40.0	77.0
		2	町田第五小学校	681	1972	47.0	40.0	77.0
		3	鶴川第二小学校	668	1972	47.0	40.0	77.0
		4	南第四小学校	678	1973	46.0	40.0	76.0
		5	町田第四小学校	691	1974	45.0	40.0	75.0
		6	鶴間小学校	710	1978	41.0	40.0	71.0
		7	金井小学校	708	1978	41.0	40.0	71.0
		8	南第二小学校	743	1978	41.0	40.0	71.0
		9	本町田小学校	659	1978	41.0	40.0	71.0
		10	木曽境川小学校	681	1978	41.0	40.0	71.0
		11	町田第二小学校	668	1972	47.0	45.4	74.3
		12	相原小学校	668	1972	47.0	48.3	72.9
		13	町田第三小学校	809	1974	45.0	48.3	70.9
		14	大蔵小学校	695	1979	40.0	53.9	63.1
		15	高ケ坂小学校	683	1979	40.0	58.3	60.9
		16	成瀬中央小学校	682	1979	40.0	58.3	60.9
		17	成瀬台中学校	992	1979	40.0	58.3	60.9
		18	南つくし野小学校	694	1979	40.0	58.3	60.9
		19	山崎中学校	1,005	1979	40.0	58.3	60.9
		20	山崎小学校	732	1979	40.0	58.3	60.9
		21	小山小学校	714	1976	43.0	62.6	61.7
		22	つくし野中学校	983	1976	43.0	67.8	59.1
		23	小山田小学校	888	1980	39.0	70.0	54.0
		24	堺中学校	292	1974	45.0	72.7	58.7
		25	忠生第三小学校	689	1976	43.0	75.8	55.1
		26	七国山小学校	653	1975	44.0	80.0	54.0
		27	三輪小学校	725	1982	37.0	58.3	57.9
		28	木曽中学校	1,031	1982	37.0	58.3	57.9
		29	小山田南小学校	710	1983	36.0	59.4	56.3
		30	小山田中学校	1,085	1983	36.0	45.5	63.3
		31	武蔵岡中学校	904	1983	36.0	58.3	56.9
		32	大戸小学校	753	1983	36.0	58.3	56.9
		33	金井中学校	1,048	1984	35.0	58.3	55.9
		34	忠生中学校	3,192	1993	26.0	69.8	41.1
	良好な学校 3校	1	町田第二中学校	976	1981	38.0	77.3	49.4
		2	町田第一小学校	1,408	2002	17.0	100.0	17.0
		3	鶴川第一小学校	1,198	2018	1.0	100.0	1.0

※体育館と校舎の複合棟は校舎に含めているため、実際の校数よりも少ない。

建物の“残り年数”については、計画の策定において重要なものであるため公開した方が良いのではないか。

建物情報一覧について

・多くの自治体で、すべての学校の建物情報一覧を公開している。町田市では、公開しないのか。
学校は、多くの市民がかかわる場所である事から、計画策定に関わる重要な情報は公開すべきと考えるがどうか。



構造躯体以外の劣化状況などの評価の項目について

・文科省が2015年に発出した「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」の『構造躯体以外の劣化状況などの評価の項目について』において、構造躯体以外の劣化状況や仕様などの水準について、地域の実情に応じて評価項目を決定するようにと記載がある。この項目は、専門知識を有さない職員等であっても調査できるようにすることが有効ともある。

・調査結果は、該当箇所の写真等とともに、カルテ形式で施設毎に取りまとめ、データベースに蓄積しておくことで、長寿命化計画の継続的な運用のために活用する事ができるとも記載がある。

学校施設の長寿命化計画策定に係る手引

平成２７年４月

文部科学省

21
ページ

2．学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説　**（３）学校施設の実態**

○構造躯体以外の劣化状況等の評価

「（４）②改修等の基本的な方針」や建物の改修等の方法・時期等の検討のほか，今後の日常的な維持管理の項目を検討するため，構造躯体以外の劣化状況や仕様等の水準について，地域の実情に応じて評価項目を決定した上で，評価を行う。これらの実態把握に当たっては，簡易な調査票や評価指標を用いるなどして，専門知識を有さない職員等であっても調査できるようにすることが有効である。下記に調査項目の例を示す。

なお，調査項目の設定に当たっては，「学校施設の評価の在り方について～学校施設の改善のために～（最終報告）」（学校施設整備指針策定に関する調査研究協力者会議，平成２１年３月）を参考とすることができる。また，効率的な点検・評価を行うためには，建築基準法第１２条に基づく定期点検（以下，「１２条点検」という。）等の法定点検の結果を活用することも有効である。

なお，「４．構造躯体以外の劣化状況等の評価項目例」として，評価項目の参考例をＰ７８に掲載した。これらの項目はあくまで例示であり，具体的な評価項目・評価部位については，地域の実情に応じ，各地方公共団体において決定する必要がある。

（安全面）
- 内装の仕様・劣化状況
- 外装の仕様・劣化状況
- 非構造部材の耐震対策状況
- 防災機能の状況
- 防犯対策の状況
- 事故防止の対策状況
- アスベスト含有建材の使用状況
- アスベストの対策・劣化の状況

（機能面）
- 設備の仕様・劣化状況
- 学習環境等の整備状況
- ICT 設備の仕様・活用状況
- バリアフリー状況
- トイレの仕様・劣化状況
- エレベータの仕様・劣化状況

（環境面）
- 断熱性能
- 日射遮蔽性能
- 遮音性能
- 設備の高効率化
- 木材利用の状況

調査結果は，該当箇所の写真等とともにカルテ形式で施設毎に取りまとめ，データベースに蓄積しておくこと（「（７）①情報基盤の整備と活用」参照）により，長寿命化計画の継続的な運用のために活用することができる。

→p. 48　参考事例：「川崎市学校施設長期保全計画」参照
→p. 51　参考事例：「立川市公共施設保全計画」参照

構造躯体以外の劣化状況などの評価の項目について～文科省の参考項目～

学校施設の長寿命化計画策定に係る手引

平成２７年４月
文部科学省

80ページ
～83ページ

構造躯体以外の劣化状況等の評価項目例

以下は、「2. 学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説」の「(3)②学校施設の老朽化状況の実態」のうち、構造躯体以外の劣化状況等の評価を行う際に考えられる評価項目の参考例を示したものである。
これらの項目はあくまで例示であり、具体的な評価項目・評価部位については地域の実情に応じ、各地方公共団体において決定する必要がある。

※下記のうち、番号1～番号56の項目は、「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(改訂版)」(平成27年3月文部科学省)における「点検チェックリスト(学校設置者用)」の点検項目を抜粋したものである。

※下記の項目は、学校施設の老朽化状況の実態を把握するために示した参考例であり、法定点検の項目を網羅したものではないことに留意する必要がある。

番号	観点	評価項目	評価部位	評価部位(詳細)	内容
1	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	モルタル	モルタルに剥落、欠損、ひび割れ、浮きは見当たらないか。
2	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ラス	モルタルに剥落、欠損、ひび割れ、はらみが見当たらないか。
3	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	タイル	伸縮調整目地が要所に施工されているか。
4	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	タイル	タイルに剥落、欠損、ひび割れ、浮きは見当たらないか。
5	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ALCパネルなど	層間変位追従性が高い構法により設置しているか。
6	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ALCパネルなど	ＡＬＣパネルや押出成形セメント板などにずれ、ひび割れ、欠損、ガタつき、さびは見当たらないか。
7	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	サイディングなど	ボードにずれ、ひび割れ、欠損、ガタつきは見当たらないか。
8	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	サイディングなど	取付ビスに浮き等の異常は見当たらないか。
9	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ガラスブロック	古い構法で設置されていないか。
10	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ガラスブロック	ガラスブロック壁に面外へのずれやせり出しは見当たらないか。
11	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	ガラスブロック	ガラスブロックの欠損、ひび割れや目地部の損傷は見当たらないか。
12	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	コンクリートブロック	コンクリートブロック壁は適切な仕様で設置されているか。
13	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	コンクリートブロック	鉄筋によりコンクリートブロック相互が緊結され、かつ、周囲が構造体等に適切に緊結されているか。
14	安全面	外装の仕様・劣化状況	外壁（外装材）	コンクリートブロック	コンクリートブロック壁にはらみ、欠損、ひび割れ、目地部の損傷は見当たらないか。
15	安全面	外装の仕様・劣化状況	窓・ガラス	ＦＩＸ窓	FIX（はめごろし）窓のガラスの固定に硬化性パテを使用していないか。
16	安全面	外装の仕様・劣化状況	窓・ガラス	開閉窓	窓に動きにくさ、変形、腐食、ガタつき等の異常は見当たらないか
17	安全面	外装の仕様・劣化状況	窓・ガラス	横連窓	横連窓を支持する構造体の剛性が確保されているか。
18	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	特定天井	技術基準に則した落下防止対策がとられているか。
19	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／軽鉄下地	野縁受けの端部の近くに吊りボルトがあるか。
20	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／軽鉄下地	照明や空調等の設備周辺の天井材に変形やずれは見当たらないか。
21	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／軽鉄下地	折れ曲がり天井になっていないか。
22	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／軽鉄下地	天井材にずれ、ひび割れ、漏水跡が見当たらないか。
23	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／木下地	吊木等が適当な間隔で配置され、耐力が十分確保されているか。
24	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／木下地	下地材の腐朽、割れは見当たらないか。
25	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	在来／木下地	天井材にずれ、ひび割れ、漏水跡、天井面の著しい変形は見当たらないか。
26	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	システム天井	Ｔバーの端部の近くに吊りボルトがあるか。
27	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	システム天井	照明や空調等の設備周辺の天井材に変形やずれは見当たらないか。
28	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	システム天井	折れ曲がり天井になっていないか。
29	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	システム天井	天井材にずれ、ひび割れ、漏水跡が見当たらないか。
30	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	直張り	木毛セメント板等のボード類にずれ・ひび割れ、漏水跡は見当たらないか。
31	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	直吹付	吹き付けに剥落、欠損、ひび割れ、浮きなどの劣化は見当たらないか。
32	安全面	内装の仕様・劣化状況	天井	直塗り	モルタルに剥落、欠損、ひび割れ、浮きなどの劣化は見当たらないか。
33	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	モルタル	モルタルに剥落、欠損、ひび割れ、浮きは見当たらないか。
34	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	ラス	モルタルに剥落、欠損、ひび割れ、むくりは見当たらないか。
35	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	仕上げボード	ボードのはらみ、緩み、ずれ、漏水跡がないか。
36	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	コンクリートブロック	コンクリートブロック壁（間仕切壁）は適切な仕様で設置されているか。
37	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	コンクリートブロック	鉄筋によりコンクリートブロック相互が緊結され、かつ、周囲が構造体等に適切に緊結されているか。
38	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	コンクリートブロック	コンクリートブロックのはらみ、欠損、ひび割れ、目地部の損傷は見当たらないか。
39	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	ステージ前部の壁	ビスや釘の浮き、ボードのはらみやずれ、汚れは見当たらないか。
40	安全面	内装の仕様・劣化状況	内壁（内装材）	ステージ前部の壁	下地材と構造体（鉄骨等）が緊結されているか。
41	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	吊り下げ形	照明器具の吊り材は支持材に緊結されているか。
42	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	吊り下げ形	落下防止対策がとられているか。
43	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	吊り下げ形	ビス等の取付金物に変形、腐食、緩みは見当たらないか。
44	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	直付け形	照明器具は支持材に緊結されているか。
45	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	直付け形	落下防止対策がとられているか。
46	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	直付け形	照明器具の取付部に変形、腐食、緩みは見当たらないか。
47	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	天井材埋込形	落下防止対策がとられているか。
48	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	天井材埋込形	照明器具の取付部に変形、腐食、緩みは見当たらないか。
49	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	照明器具	天井材埋込形	照明器具周辺の天井材に変形やずれは見当たらないか。
50	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	設備機器	放送機器・体育器具	放送機器や体育器具は支持材に緊結されているか。
51	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	設備機器	放送機器・体育器具	取付金物の緩み、腐食、破損は見当たらないか。
52	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	設備機器	空調室外機	空調室外機や給湯設備などは支持材に緊結されているか。
53	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	設備機器	空調室外機	取付部に変形、腐食、破損は見当たらないか。
54	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	テレビなど	天吊りテレビ・エアコン	天吊りのテレビ台及びエアコンが構造体に緊結されているか。
55	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	エキスパンション・ジョイント	エキスパンション・ジョイント	エキスパンション・ジョイントの間隔は十分か。
56	安全面	非構造部材の耐震対策状況（内外装以外）	エキスパンション・ジョイント	エキスパンション・ジョイント	カバー材が適切な追従性能を有するか。
57	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋上面	屋上面に劣化、損傷は見当たらないか。
58	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋上周り（屋上面以外）	パラペットの立上り面に劣化、損傷は見当たらないか。
59	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋上周り（屋上面以外）	笠木モルタル等に劣化、損傷は見当たらないか。
60	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋上周り（屋上面以外）	金属笠木に劣化、損傷は見当たらないか。
61	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋上周り（屋上面以外）	排水溝（ドレーンを含む）に劣化、損傷は見当たらないか。
62	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋根（屋上面以外）	屋根の防火対策がとられているか。
63	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	屋根（屋上面以外）	屋根に劣化、損傷は見当たらないか。
64	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	機器、工作物（冷却塔設備、広告塔等）	機器、工作物本体、接合部に劣化、損傷は見当たらないか。
65	安全面	外装の仕様・劣化状況	屋上・屋根	機器、工作物（冷却塔設備、広告塔等）	支持部分等に劣化、損傷は見当たらないか。
66	安全面	防災機能の状況	避難路	避難路	避難路は確保されているか。
67	安全面	防災機能の状況	水	耐震性貯水槽	耐震性貯水槽は整備されているか。
68	安全面	防災機能の状況	水	浄水・耐震プール	浄水・耐震プールは整備されているか。
69	安全面	防災機能の状況	水	防災井戸	防災井戸は整備されているか。
70	安全面	防災機能の状況	水	貯水槽蛇口	貯水槽蛇口は設置されているか。
71	安全面	防災機能の状況	照明・電気・ガス	自家発電設備	自家発電設備は整備されているか。
72	安全面	防災機能の状況	照明・電気・ガス	蓄電池	蓄電池は整備されているか。
73	安全面	防災機能の状況	照明・電気・ガス	ガス変換器	ガス変換器は整備されているか。
74	安全面	防災機能の状況	照明・電気・ガス	燃料貯蔵・供給設備	燃料貯蔵・供給設備は整備されているか。
75	安全面	防災機能の状況	情報通信	防災無線	防災無線は整備されているか。
76	安全面	防災機能の状況	情報通信	衛星電話	衛星電話は整備されているか。
77	安全面	防災機能の状況	衛生	災害用トイレ	災害用トイレは設置されているか。
78	安全面	防災機能の状況	衛生	シャワー	シャワーは設置されているか。
79	安全面	防災機能の状況	備蓄	備蓄倉庫	備蓄倉庫は整備されているか。
80	安全面	防犯対策の状況	校門、囲障等	校門、囲障	校門、囲障（フェンス、植栽等）の破損はないか。
81	安全面	防犯対策の状況	校門、囲障等	外灯	外灯に破損、球切れ等はないか。
82	安全面	防犯対策の状況	監視装置	防犯カメラ	防犯カメラ等により、児童生徒の活動場所等を適切に監視できているか。
83	安全面	防犯対策の状況	校内伝達装置	インターホン、内線電話	インターホン、内線電話は適切に作動するか。
84	安全面	防犯対策の状況	校内伝達装置	非常ベル	非常ベルは適切に作動するか。
85	安全面	防犯対策の状況	校内伝達装置	緊急通報装置	緊急通報装置は適切に作動するか。
86	安全面	防犯対策の状況	校内伝達装置	校内放送設備	校内放送設備は適切に作動するか。
87	安全面	防犯対策の状況	警察等連絡装置	専用回線（警察）	警察への連絡手段は適切に確保されているか。
88	安全面	防犯対策の状況	警察等連絡装置	専用回線（自治体）	地方自治体への連絡手段は適切に確保されているか。
89	安全面	事故防止の対策状況	理科教室等	緊急用シャワー、洗眼装置	緊急用シャワー、洗眼装置を設置しているか。
90	安全面	事故防止の対策状況	理科教室等	換気設備	有効に換気設備を設置しているか。
91	安全面	事故防止の対策状況	屋内運動場（観覧席等）	腰壁、手すり	適切に腰壁・手すりを設置しているか。
92	安全面	事故防止の対策状況	廊下	鏡	衝突するおそれのある曲がり角等に鏡を設置しているか。
93	安全面	事故防止の対策状況	廊下	緩衝材	衝突するおそれのある部分に緩衝材を設置しているか。
94	安全面	事故防止の対策状況	廊下	防護柵	防護柵などにより物理的に開口部に近づけなくする等配慮しているか。
95	安全面	事故防止の対策状況	階段	側壁、手すり	転落防止の側壁、手すりを設置しているか。
96	安全面	事故防止の対策状況	階段	転落防止ネット	ネット等により転落を防止の措置を講じているか。
97	安全面	事故防止の対策状況	階段	防護柵	防護柵などにより物理的に開口部に近づけなくする等配慮しているか。
98	安全面	事故防止の対策状況	階段	側壁上部の突起	側壁の上部に突起を設けるなどの工夫をしているか。
99	安全面	事故防止の対策状況	窓・ガラス	安全ガラス、飛散防止フィルム等	安全ガラスや網入りガラス、合わせガラス、飛散防止フィルム等を有効に使用しているか。
100	安全面	事故防止の対策状況	窓・ガラス	防護柵	衝突のおそれのあるガラスに手すり、格子、フェンス等の防護柵を配置しているか。
101	安全面	事故防止の対策状況	天窓	防護柵	周囲に防護柵を設置しているか。
102	安全面	事故防止の対策状況	天窓	落下防護ネット	落下防護ネットを配置しているか。
103	安全面	事故防止の対策状況	出入口	面取り処理、カバー	面取り処理、カバー、緩衝材の設置等の工夫を行っているか。
104	安全面	事故防止の対策状況	出入口	ドアクローザー	ドアクローザーを設置しているか。
105	安全面	事故防止の対策状況	出入口	風除室	風除室を設けているか。
106	安全面	事故防止の対策状況	出入口	防火シャッター	挟まり防止の注意喚起装置を設置しているか。
107	安全面	事故防止の対策状況	床	滑りにくい材料	エンボス状のシートを床に張るなどの工夫をする。
108	安全面	事故防止の対策状況	壁・柱等	面取り処理、カバー、緩衝材	面取り処理、カバー、緩衝材の設置等の工夫を行っているか。
109	安全面	事故防止の対策状況	壁・柱等	掛け具への覆いなど	掛け具に覆いをしたり、壁面に窪みを作りその部分に設置するなど配慮をしているか。
110	安全面	事故防止の対策状況	学校用家具	面取り処理、カバー、緩衝材	面取り処理、カバー、緩衝材の設置等の工夫を行っているか。
111	安全面	事故防止の対策状況	学校用家具	固定	確実に固定するための配慮をしているか。
112	安全面	事故防止の対策状況	庇	立ち入りの制限	手すりや窓の開閉方式の工夫により立ち入りができないようにしているか。
113	安全面	事故防止の対策状況	屋上	手すり、防護柵	手すりや防護柵を適切に設置しているか。
114	安全面	事故防止の対策状況	屋上	塔屋	塔屋の一段目を高く設定するなどの配慮をしているか。
115	安全面	事故防止の対策状況	バルコニー	足掛り	足掛りとなるものを設置しないようにしているか。
116	安全面	事故防止の対策状況	バルコニー	上部の形状	上部に物が置けない形状にしているか。
117	安全面	事故防止の対策状況	点検口等	施錠	適切な施錠を行っているか。
118	安全面	事故防止の対策状況	プール（排水口）	排水口	蓋等をネジ、ボルト等で固定したり、吸い込み防止金具を設置しているか。
119	安全面	アスベスト含有建材の使用状況	成形板等（レベル３）	床、壁、天井等	アスベスト含有建材が使用されているか。
120	安全面	アスベスト含有建材の使用状況	保温材等（レベル２）	床、壁、天井等	アスベスト含有建材が使用されているか。
121	安全面	アスベスト含有建材の使用状況	吹き付け（レベル１）	床、壁、天井等	アスベスト含有建材が使用されているか。
122	安全面	アスベストの対策・劣化の状況	教室、煙突等	教室	アスベスト対策はできているか（使用していない、適切に処理されているなど）。
123	安全面	アスベストの対策・劣化の状況	教室、煙突等	煙突	アスベスト対策はできているか（使用していない、適切に処理されているなど）。
124	機能面	設備の仕様・劣化状況	受変電設備又は幹線設備	–	受変電設備、幹線設備は適切に作動するか。
125	機能面	設備の仕様・劣化状況	空調設備	–	温熱環境は適切に保たれているか。
126	機能面	設備の仕様・劣化状況	空調設備	–	空調換気設備は適切に作動するか。
127	機能面	設備の仕様・劣化状況	給排水衛生設備	–	給排水衛生設備は適切に作動するか。
128	機能面	設備の仕様・劣化状況	ライフライン	水道管、ガス管、電気配管など	ライフラインの更新の容易性は確保されているか。
129	機能面	トイレの仕様・劣化状況	トイレ	–	衛生は保たれているか（臭い、汚れ等）。
130	機能面	トイレの仕様・劣化状況	トイレ	便器、配管	トイレは詰まりやすくないか。
131	機能面	トイレの仕様・劣化状況	トイレ	床	トイレは乾式の床となっているか。
132	機能面	トイレの仕様・劣化状況	トイレ	トイレブース、便器	トイレブース、便器は破損していないか。
133	機能面	エレベータの仕様・劣化状況	エレベータ	–	遮煙性能、遮炎性能、レールの強度等、必要な性能を満たしているか。
134	機能面	エレベータの仕様・劣化状況	エレベータ	–	戸開走行保護装置、地震時管制運転装置等、必要な装置を備えているか。
135	機能面	学習環境等の整備状況	教室等	–	適切な学習スペースが量的に過不足なく確保されているか。
136	機能面	学習環境等の整備状況	教室等	–	総合的な学習の時間や少人数学習など、学習内容・学習形態等の進展に対応した学習環境となっているか。
137	機能面	学習環境等の整備状況	教室等	–	地域との連携のための施設・スペースは整備されているか。
138	機能面	ICT設備の仕様活用状況	教室等	–	教育用・校務用コンピュータは設置されているか。
139	機能面	ICT設備の仕様活用状況	教室等	–	校内LANは配備されているか。
140	機能面	バリアフリー状況	玄関、廊下等	スロープ	スロープ等により段差の解消を適切に行っているか。
141	機能面	バリアフリー状況	階段等	手すり	手すりは適切に設置されているか。
142	機能面	バリアフリー状況	トイレ	車いす使用者対応トイレ	車いす使用者対応トイレは設置されているか。
143	環境面	断熱性能	開口部	窓、サッシ、ドアなど	開口部に断熱性能や気密性能の高い材を用いているか。
144	環境面	断熱性能	内装、外装	屋根、天井、壁、床など	内装、外装に断熱性能や気密性能の高い材を用いているか。
145	環境面	日射遮蔽性能	開口部	窓、サッシ、ドアなど	開口部に日射遮蔽性能の高い材を用いているか。
146	環境面	日射遮蔽性能	内装、外装	屋根、天井、壁、床など	内蔵、外装に日射遮蔽性能の高い材を用いているか。
147	環境面	遮音性能	開口部	窓、サッシ、ドアなど	開口部に遮音性能の高い材を用いているか。
148	環境面	遮音性能	内装、外装	屋根、天井、壁、床など	内装、外装遮音性能の高い材を用いているか。
149	環境面	設備の高効率化	空調設備	–	高効率の設備を用いているか。
150	環境面	設備の高効率化	照明設備	–	高効率の設備を用いているか。
151	環境面	木材利用の状況	内壁（内装材）	内装など	構造躯体や内装等に木材を活用しているか。

80 81 82 83

劣化だけでなく、事故予防、バリアフリー、防災、防犯、など
様々な項目を評価項目として例示している。
自治体によっては、この評価項目も市民に公開している。